

宮城県福祉サービス第三者評価結果

1 第三者評価機関名

NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ
------------------------------

2 施設・事業所情報

名称：アスク愛子保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 小松 清美	定員（利用人数）： 110（125）名
所在地：宮城県仙台市青葉区愛子中央5-7-18	
TEL：022-302-8030	ホームページ： <a href="http://www.nihonhoiku.co.jp">http://www.nihonhoiku.co.jp</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成25年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 日本保育サービス	
職員数	常勤職員： 22 名 非常勤職員 14 名
専門職員	(専門職の名称) 名
	園長 1 名 事務 1 名
	主任保育士 1 名 用務 3 名
	保育士 17 名 保育士 5 名
	看護師 1 名 調理員 5 名
栄養士 2 名	
施設・設備の概要	・保育室 6室 ・一時保育室 ・事務室・職員休憩室（更衣室）・相談室・遊戯室・調理室 ・園庭

3 理念・基本方針

<p>&lt;法人の運営理念&gt; 「こどもたちの笑顔のために」</p> <p>① 安全&amp;安心を第一に</p> <p>(1)施設設備の安全、(2)健康管理の安全、(3)食品衛生の安全、(4)職員体制の安全を確保し、子どもたちが伸び伸びと一日を過ごせる理想的な保育環境の提供を目指します。</p> <p>② いつまでも思い出に残る施設であること</p> <p>子ども・保護者双方にとって『卒園後も心に残る保育所』となることを目指し、楽しい思い出づくりのお手伝いをしています。</p> <p>③ 本当に求められる施設であること</p> <p>保護者の仕事と子育ての両立をできる限り応援するために、延長保育や休日保育などを実施しています。また、地域に開けた保育所を目指し、一時保育や地域子育て支援、</p>
---

育児相談なども積極的に行っています。利用者の声に耳を傾け、本当に必要とされているサービスを提供します。

④ 職員が楽しく働けること

利用者にとって楽しい施設であることを目指す上で、職員が働きやすい環境づくりは欠かすことができません。サークル活動、メンタルヘルスチェックなどサポート体制をつくり、会社を挙げて職員が健康で楽しめる職場環境づくりに取り組んでいます。

<法人の保育理念>

① 自ら伸びようとする力

こどもたちが自ら成長のきっかけをつかみ、ひとつひとつ「できる喜び」を実感することで、「生きる力」を獲得することを目指します。

② 後伸びする力

目先の結果や成長を期待したり、こどもたちに要求するのではなく、個々の特性を重んじ、長期的な視点から、保育を行います。

③ 五感で感じる保育

四季や自然の力を体感させ、視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚の五感で感じる保育の充実を目指します。

<法人の運営方針（CREDO）>

① 約束

- ・私たちは、子どもたちの命を守ります。
- ・私たちは、子どもたちに安心を提供します。
- ・私たちは、利用者や地域に寄り添った子育て支援を提供します。
- ・私たちの大きな和こそ力です。
- ・私たちは、社会の一員として法令を遵守します。

② しるべ

- ・子どもたちの安全を考え職務に励みます。
- ・専門家として学びます。
- ・一人ひとりが自律し、責任感をもって行動します。
- ・子どもたち一人ひとりを大切にし、その個性を尊重します。
- ・子どもたち、保護者の声に耳を傾けます。
- ・専門性を地域資源として提供します。
- ・地域交流に努めます。
- ・誠実で思いやりのある行動を心がけます。
- ・専門性を活かし、協力し合うことで、最高のサービスを提供します。
- ・所属をこえて助け合います。
- ・人権を尊重します。
- ・虐待は絶対に見逃しません。
- ・個人情報を守ります。
- ・会社の財産を私的に利用しません。

③ こころざし

- ・社会の一員として、地域社会の発展や環境の保全に貢献します。
- ・反社会的勢力とは一切関係をもたず、政治家や公務員とは健全で適正な関係を保ちます。
- ・子どもたちや保護者の満足、社会の子育て支援ニーズを追求し革新し続けます。
- ・子どもたちの未来のため、社会福祉の向上に貢献します。

④ 宣誓 「私たちは、こどもたちの笑顔のために・・・」

- ・最善を考え行動します。
- ・私たちが笑顔でいることを忘れません。
- ・自分の意見を持ち、他人の意見に耳を傾けます。
- ・楽しむ気持ちを忘れません。
- ・学び続けます。

<園目標> ～ 感じる心 広がる笑顔

- ・何事にも意欲的に向き合い、やりとげようとする力が育つ
- ・人と自然に対する豊かな心情と感性が育つ
- ・元気にあいさつの出来る子
- ・思いやりのある優しい心を持てる子

<保育の特徴>

- 五感を育てる保育      ○生きる力をはぐくむ保育
- 異年齢児保育          ○主体的な生活による保育

4 施設・事業所の特徴的な取組

アスク愛子保育園は平成25年度に設立され、5年目を迎えました。開設1年目から第三者評価を積極的に受審され、保育サービスの質向上と保護者との信頼関係の構築に向けて努力されてきました。その取り組みの中で明確になった課題を事業計画にも反映させ、職員会議でも検討され、具体的に目標を持って取り組んでいます。

重点課題の一つに「保育の質の向上」に向けて、「保育士人材育成ビジョン」をもとに「明日からのわたし」という形で文章化され、組織的に取り組む姿勢が見受けられました。様々な分野の研修に参加し、保育サービスの質の向上に向けて努力している様子が伺えました。当園には数人の男性保育士が配置され、諸行事やイベント時などでも重要な役割を果たし、子どもたちとの活発な遊びやきめ細かな対応、保護者との関係も良好で、職員同士のコミュニケーションもできています。

5 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 29年 7月 31日 (契約日)      ～ 平成 30年 1月 12日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	5回 (平成28年度)

## ◇特に評価の高い点

## 1. 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている点

園として、運営に関わる法令がリスト化され、個人情報保護方針や文書管理規定も整備されています。重要事項説明書（入園・進級のしおり）にも個人情報の利用について掲載し、保護者にも説明しています。園長は管理者研修や園長会議などで法令・倫理に関しての研修を受け、年度初めに職員に周知しています。プライバシー保護や虐待、人権に関する問題、児童憲章についてなどの研修会にも職員が積極的に参加し、組織的な取り組みをしています。事業計画の項目の一つに「子どもの権利保障」として掲げ、虐待から子どもを守るため、関係機関との連携の在り方や保護者とのコミュニケーションの大切さなど職員会議で討議されています。

## 2. 食事を楽しむ事が出来る工夫や乳幼児にふさわしい食生活が展開されており、保護者に対する支援も行われている点

発達に合わせた保育プログラムにもとづいて、子ども達が育てた野菜を給食に取り入れたり、毎月行われるクッキング保育や、毎月19日を食育の日として位置づけ、園全体で食事を楽しむ工夫がされています。また、食育の計画を作成し、家庭の食事の状況を把握しながら連携を取るなど、発育期にある子どもの食事の重要性や食育に関心を持つような取り組みを行っています。保育士・栄養士・調理師等の連携をはかり、毎月給食便りを発行して保護者支援を行っています。

## ◇改善を求められる点

## 1. 中・長期計画ビジョンを明確にした事業計画の策定が求められる点

平成27年度から31年度までの5ヶ年の中期計画は本部の記入様式に沿って、目標は毎年同じ6項目で明記され、中期計画を含め、具体的にするために職員で討議し作成していますが、課題となっている人材確保と定着などが計画に入っていません。中・長期的ビジョンが不明確であり、中期計画の内容も年度毎の具体的な取り組み内容も不十分なものとなっています。

今後、本部の支援を受け、法人の運営理念・運営方針に沿って、当園の保育計画の実現に向けてのビジョンを明確にした中・長期計画の策定が望まれます。また、当園として子ども達や保護者を取りまく地域状況や人材確保育成などの取り組むべき課題や問題点を明確にし、それらを反映した、中・長期事業計画と収支計画の策定が求められます。

## 2. 保育士の確保と定着に向けて、より一層の努力が求められる点

社会的にも保育士不足が課題となっている中で、当園としても確保と定着に苦慮しています。園長自ら、新職員採用募集に仙台で開催される就職セミナーへ参加したり、園見学ツアーの企画、職員の友人を紹介する取組み（ドーナツ作戦）などを行っています。保育士の時間外勤務も多く、厳しい現状にあります。新人には援助担当者がついて相談に応じたり、定着にも努力しています。

よりよい保育の質の向上と働きやすい職場作りを目指し、計画に基づいた保育士の

確保と定着に向けて、より一層の努力が求められます。

7 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

園目標に向かって職員一同力を合わせ、より良い保育を目指し取り組んでまいりました。食育活動に力を入れ、野菜づくりをしたり、以上児クラスは毎月クッキングを行ったりし、給食の時間を楽しみにしています。

来年度は、地域との交流を深め地域に根ざした園づくり、また、働きやすい職場環境づくりを課題に取り組んでまいります。

今回の第三者評価を受け止め、子どもたち、保護者の皆様、職員がひとつになり、温かい保育園づくりに努めてまいります。

8 各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり（施設の区分に応じ福祉サービス第三者評価結果票を添付する。）

## (アスク愛子保育園) 福祉サービス第三者評価結果票 (保育所版)

- ※ すべての評価細目 (69 項目) について、判断基準 (a・b・c の 3 段階) に基づいた評価結果を表示する。
- ※ 評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所の運営理念、園目標は重要事項説明書 (入園・進級のしおり)、パンフレット、ホームページに記載され、保護者には入園時や進級時、懇談会などで説明をしています。園目標は職員や保護者がいつも目に触れることができるように、玄関ホールや各保育室に掲示しています。新規採用の職員には入社前に説明し、毎年全職員へ重要事項説明書を配布し、周知が図られています。</p> <p>職員が日々の保育の場面で理念を具体的に実践に活かしていけるように、年間を通して確認する機会を作り、継続的に取り組むことを期待します。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本部での園長ミーティングや地域の園長会議に参加し、保育をめぐる環境や職員の担い手不足などについて情報収集に努め、職員へ伝達はしていますが、その議事録は確認できませんでした。当園の経営状況に関しては本部が行っているとのことでデータや資料などでの把握や分析は行っていません。</p> <p>今後、子ども達を取り巻く環境や地域の状況など把握・分析し、当園としての課題を明確にできるような仕組み作りを期待します。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>月 2 回開催される園長ミーティングで全体の経営課題や状況について報告・指導が行われています。本部から部長や運営支援課、東北・北海道を統括するエリアマネージャーが直接、職員と面接し、意見や要望、悩みなど聞き取る中で、具体的な課題や問題点が明らかになっています。特に長時間勤務や朝晩の体制について検討課題となり、本部とも相談し、夕方の体制を手厚くするため、スターライト先生 (18 時～閉園まで勤務) の配置など、改善に向け</p>		

て努力しています。

今後、経営課題を明確にし、園長のリーダーシップの発揮と職員の英知を結集して、よりよい保育環境を作る為の取り組みを進めていくことを期待します。

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>平成 27 年度から 31 年度までの 5 ヶ年の中長期計画は本部の記入様式に沿って、目標は毎年同じ 6 項目で明記され、中期計画を含め、具体化するために職員で討議し作成しています。しかし、中・長期的ビジョンが不明確であり、中期計画も年度毎の具体的な取り組み内容も十分とはいえません。</p> <p>今後、本部の支援を受けて、法人の運営理念・運営方針に沿って、当園の保育計画の実現に向けてのビジョンを明確にした中・長期計画の策定が望まれます。また、当園として子どもたちや保護者を取りまく地域状況や人材確保育成などの取り組むべき課題や問題点を具体的に明確にし、中・長期事業計画と収支計画の策定が求められます。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期計画を踏まえて単年度計画を策定していますが、収支計画は確認できませんでした。園としては単年度の計画として、保育環境を整える取り組みや人材確保と定着に関する取り組みについて職員会議や各委員会などで話し合わせ、課題となっていますが事業計画に反映されていません。</p> <p>今後、本部の支援を受け、園としての具体的な取り組むべき課題や問題点を明確にして、中・長期計画を踏まえた単年度の計画（事業・収支）の策定が望まれます。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画の策定のためのまとまった討議時間を確保するのに苦慮し、職員会議の中で数回に分けて議論していますが、行事の取り組み以外は十分ではありません。園の実情や地域の特徴を捉え、また職員の意見を十分に反映した事業計画の策定が望まれます。</p> <p>今後、実施状況の把握や評価・見直しも含めて、組織的に行われる仕組みの構築を期待します。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p>		

事業計画の保護者への説明は4月の懇談会時に口頭で説明していますが、理解を深めるための資料は配布されていません。玄関に掲示し、閲覧できるようにしてありますが、周知が十分とは言えません。

計画内容をわかりやすく説明した資料を作成し、理解しやすい工夫を望みます。

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>第三者評価は今年で5回目の受審を行っています。職員全員が自己評価し、園長と主任がそれを集約するなど組織的な取り組みを行い、評価を実施しています。これまでも評価結果を受け職員と共に課題を明確にし、改善に向けた取り組みを進めています。サービス向上委員会も設置され、質の向上に向けた取り組みを行っています。</p> <p>今後、福祉サービスの質向上に向けて、PDCA サイクルにもとづく組織的な仕組み作りが望まれます。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>評価結果を職員に報告し、職員間での共有化に努められていますが、改善に向けた取り組みに関しては不十分です。</p> <p>第三者評価結果を基に課題を明確にし、組織的に改善のための取り組みを進めることを期待します。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は管理者としての責任と役割について業務マニュアルや組織図などに明記され、入社時には全職員に知らせるように努力をしています。毎月の「園だより」園長コラムの中で保護者にメッセージを伝えています。園長不在時の権限移譲については業務マニュアルに明文化されています。</p> <p>園長の責任と役割については会議や研修などで職員への周知がより一層図られるよう期待します。</p>		



11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は本部の「コンプライアンス」規定に沿って、遵守すべき法令等を年度初めの職員会議で全員に資料を渡し、周知を図る取り組みを行っています。職員会議の他、研修会などでも個人情報や虐待などに関して具体的事例も報告しながら学習や研修を行っています。年2回行われる本部の人事考課の査定項目でも法令遵守についての理解力の評価項目があり、重視して取り組んでいます。重要事項説明書（入園・進級のしおり）にも個人情報の利用について掲載し、保護者にも説明しています。なお一層、児童福祉法の改定に伴う内容の周知徹底が望まれます。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>行事終了後の保護者アンケートや、保護者との懇談会においても出された意見や要望を職員会議で報告し、共有し、改善に結びつけています。</p> <p>園長としてはより良い保育サービスのためにも職員の負担を減らす工夫や長時間勤務などについて、本部に伝え改善を求める努力をしています。厳しい体制の中でも、職員間での連携が良く協力体制が出来ています。</p> <p>いろんな研修会や学習会への参加も重視して取り組んでいますが、サービスの質向上に関する組織的な取り組みについて指導力の発揮が求められます。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>効果的に事業運営を進めるため職員による食農、教材、安全、衛生・エコなど委員会を設置し、それぞれに目標を定め効率の良い業務の遂行に取り組んでいます。職員の長時間勤務改善についても時間外労働申請書で明確にし、職員会議で検討されています。職員が作成する文書は手書きのため、作業を軽減するための電子化の導入など本部とも協議をしています。</p> <p>職員全体で園としての効果的な運営を目指すための取り組みにしていくため、リーダーシップの発揮が求められます。</p>		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>仙台で開催される就職セミナーに園長自ら参加し、新職員獲得のため採用活動にも努力しています。また夕方の体制を手厚くするため、時給を高くしてのスターライト先生（18時～</p>		

閉園まで勤務)の採用や職員の友人を紹介する取組み(ドーナツ作戦)など職員確保と定着のため具体的に取り組んでいます。中長期計画や事業計画の中でも職員の資質向上のため研修の充実が謳われ、職員一人ひとりが「明日からのわたし」として目指す姿、中間時点の目標、「3年後の私」を目標として表明しています。新人の悩み事の相談には先輩との食事会費用を本部で援助するなど、定着にも取り組んでいます。

計画に基づいた人材の確保と定着に関して、園として主体的に積極的な取組みが求められます。

<b>15</b>	<b>II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</b>	<b>b</b>
-----------	------------------------------------	----------

<コメント>

保育士育成ビジョンが作成され職員一人ひとりの目標を設定しています。年2回社員賞与査定時には職員が自己査定したものを園長が評価し、園長の評価はエリアマネージャーが行う仕組みとなっています。職員の評価結果は賞与、昇給に反映されるとの事ですが、詳細についてはフィードバックされていません。

今後は評価結果のフィードバックなど職員が働く意欲に結びつくような総合的な人事管理の実施が望まれます。

**II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。**

<b>16</b>	<b>II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</b>	<b>b</b>
-----------	--	----------

<コメント>

本部の運営理念に「職員が楽しく働けること」とあり、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。本部が年2回記名式のアンケートをとり退職や異動の希望などを集計し、園長にフィードバックされ対応をしています。職員アンケートやヒアリングでも「職員関係が良く連携がとれ、協力体制が出来ている」との回答が多く、コミュニケーションが取れている状況が伺われました。

今後は就業状況(残業や休暇取得など)改善や職員がいつでも気軽に相談できる窓口の検討を期待します。

**II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。**

<b>17</b>	<b>II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</b>	<b>b</b>
-----------	---	----------

<コメント>

個人別年間研修計画を作成し半期ごとに成長目標、研修目標を立て園長がアドバイスをし、一人ひとりが目標達成に向けて取り組んでいます。目標は育成ビジョンを参考に「明日からの私」として「目指す姿」に取り組む、10月に中間確認をし、3月に振り返りを行い「3年後の私」の目標を目指していますが、具体的に書面では確認や振り返りまでの記録は確認できませんでした。

今後、組織としての目標設定と一人ひとりの目標や研修計画、実施、評価まで確認できる仕組み作りを期待します。

<b>18</b>	<b>II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、</b>	<b>b</b>
-----------	---	----------

	教育・研修が実施されている。	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画にも保育の質の向上のため研修を位置付けています。仙台市主催の研修、社内研修、園内研修など、参加者が上期と下期に分けて、勤務保障もしながら実施しています。職員の参加した研修報告やレポートを提出し、報告する機会も設けています。一人ひとりの研修履歴は確認できませんでした。</p> <p>今後、定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを実施するように期待します。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員が研修に参加する機会が確保されています。園内研修は半年ごとに個人別研修計画を立てています。本部が義務付けている階層別研修は夜間に行われることが多く別途手当支給されています。仙台市の研修にはシフト調整を行い平等に参加でき、他の外部研修に関しては全職員に案内され、自主参加としています。</p> <p>今後、一人ひとりの研修履歴など作成し、研修成果を評価・分析し、次の研修計画に生かせるような仕組み作りを期待します。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習生受け入れマニュアルが整備され、28年度は子ども専門学校、介護福祉、医療福祉などの専門学生4名の実習生を約10日間受け入れ、学校側と連携し実習プログラムを整備し積極的に受け入れています。実習窓口は主任が担当し、受け入れにあたっては職員はじめ保護者にも伝え理解を得ています。</p> <p>今後、福祉の人材を育成する大事な取り組みとして、組織的に体制を整備し、効果的な教育・育成が行われることを期待します。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園の事業活動はパンフレット等に公表されているが、財務などの状況は公表されていません。園のホームページには保育園での子ども達の様子、行事の様子が写真などで細やかに公表し、保護者にも周知され、第三者評価結果も毎年公表されています。保護者には苦情解決のしくみについても説明され、苦情や意見は園長以外に本部に直接保護者がメールや電話もできる仕組みがあります。地域へは年2回の地区祭りの会合や地区の年数回のネットワーク会議の場で園のパンフレットなどで紹介しています。</p> <p>今後、近隣や町内会へは日頃の園の広報物を配布するなどして、情報の公開に努めるよう</p>		

に期待します。		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>経理処理、事務処理、個人情報の取り扱いや保育業務に関しては業務マニュアルにそって行われています。内部監査が毎月行われ、指摘された場合は改善が行われています。経理処理、事務処理に関しては本部がおこない、園長は小口現金を管理しています。備品などの購入は本部に申請する仕組みとなっています。</p> <p>今後、小口現金の取り扱い規定の作成や業務マニュアルの見直し修正も含めて、検討することが望まれます。</p>		

## Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>平成 29 年度の事業計画には地域交流を掲げ、地域の方々に園庭開放や行事への参加を呼びかけ、交流を深める取り組みを重視しています。実際は園庭開放を地域の情報誌にのせていますが今期の申し込みはありません。園児が高齢者施設への訪問、消防署見学など出かけていますが地域との交流は十分とは言えません。</p> <p>今後も園主催の行事に招く事や地域行事に参加し、交流を深めるなど良好な関係を築いていくことが望まれます。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「ボランティア受け入れガイドライン」が整備され意義や受け入れ時における配慮が具体的に明記されています。主任が受け入れ窓口になり、今年度は「手洗い講習会」と「腹話術」のボランティアが来園し、子ども達に喜ばれています。中学生の職場体験も積極的に受け入れています。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>区役所、保健所等とネットワーク宮城の会議などに園長が定期的に参加したり、児童相談所とも連携を取り合っています。職員には口頭で説明し、情報の共有化を図るようにしています。園として関係する社会資源のリストを作成しています。</p>		

<p>今後、サービスの質の向上に向けて、地域の社会資源の機能なども含めて、職員会議で口頭だけではなく、重要な伝達事項などは会議録にとどめて、職員の共有化を図ることを望みます。</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園庭の開放を呼びかけていますが利用者はいませんでした。園の見学に来た保護者には園長が対応し取組みや方針、特徴について話し、園内を案内して離乳食など育児相談にも応じています。</p> <p>園庭の開放や育児相談については広報紙などを通して知らせる工夫をして、地域に開かれた園になることを期待します。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は地域ネットワーク会議で出される福祉ニーズについては情報を共有しています。特に保育士不足、待機児童などの課題も共通課題として改めて認識しています。地域状況としては、保護者の遠距離勤務による困難さや保育士の勤務実態の厳しさなど話されるなど、地域の保育士同士で悩みなど共有しあい、お互いに励ましあっています。</p> <p>地域ネットワーク会議などで出された情報を職員や保護者へ知らせ、地域のニーズの把握など、情報の共有化を図る事を期待します。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者の尊重や基本的人権への配慮について組織で学習会や研修を行っています。園長が中心となって入園のしおりを作成し、職員の意見を反映する取り組みを行っています。保護者には、4月の懇談会で説明し、意見を聞いています。</p> <p>時代の変化により子ども・保護者のニーズも変化することが予想され、利用者を尊重した保育サービス提供に関する基本姿勢を、保育計画に反映することが望まれます。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者のプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員研修を実施し</p>		

ています。新任者には、採用説明会で利用者のプライバシー保護の重要性を説明しています。朝夕の保育の引き継ぎには、引き継ぎ板を活用しプライバシーの漏洩に配慮しています。

今後とも、保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取り組みを周知することが望まれます。

**Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。**

<b>30</b>	<b>Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。</b>	<b>b</b>
-----------	--	----------

<コメント>

理念や基本方針、福祉サービスの内容や事業所の特性については、ホームページで保育園の情報を公開すると共に、宮城地区まつりでパンフレットを配布したり手作りおもちゃコーナーを設置したりして市民に情報提供をしています。体験入所、1日入所の希望はありませんが、見学希望者を受入れて説明しています。

今後、保育園を紹介するパンフレットは、言葉遣いや写真、図、絵等を用いて誰にでもわかりやすいものにするような工夫が望まれます。

<b>31</b>	<b>Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。</b>	<b>b</b>
-----------	---	----------

<コメント>

「重要事項説明書（入園・進級のしおり）」には園の目標、運営理念、保育の内容を明記し、入園説明会や懇談会で説明しています。サービス開始、変更時には保護者の同意を得た上で、その内容を書面で残しています。

今後、説明にあたっては、組織が定める様式にもとづき、保護者が理解しやすい工夫や配慮が望まれます。

<b>32</b>	<b>Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</b>	<b>b</b>
-----------	--	----------

<コメント>

他の福祉施設・事業者や地域・家庭への移行にあたっては、福祉サービスの継続性に配慮した手順と引き継ぎ文書を定めております。卒園児には行事の招待状を出し、継続した関係づくりに努めております。

今後、福祉サービスが終了した場合には、保護者に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡す等の配慮が望まれます。

**Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。**

<b>33</b>	<b>Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</b>	<b>b</b>
-----------	--	----------

<コメント>

園だより、クラスだより、保健だより、給食だよりを毎月配布し、園生活の様子を知らせ、様々な情報発信をしています。またクラス懇談会や運営委員会、行事ごとにアンケートを取るなどして、保護者の意見を取り入れる努力がされていますが、運営委員会の出席者が3～

<p>10名と少ない状況となっています。</p> <p>今後、運営委員会の出席者数の増加に向けた対策や工夫を行い、利用者満足の向上に向けて組織的に取り組まれることを期待します。</p>		
<p><b>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</b></p>		
34	<p>Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園として園長が苦情解決責任者で、苦情受付担当者、第三者委員の設置がなされ、苦情解決制度の体制が整備されています。「重要事項説明書（入園・進級のしおり）」に苦情受付が明記され、利用者にも周知されています。ご意見箱が設置され、「アクシデント報告書」が1件、「クレーム受理票」として2件あり、園長が窓口となり、全職員に周知し、組織的な取り組みを行っています。</p> <p>今後、苦情内容や結果に関して、サービスの信頼性を向上するため、個人情報に関するものを除き、定期的に公表し、苦情解決の仕組みが十分に機能することを期待します。</p>		
35	<p>Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>送迎時に話をしたり個人面談で相談を受けたり、相談室がありプライバシーを保護する環境が整備されています。送迎時は勤務体制により担当が不在になることがあり、保護者が集中して送迎する時間帯は十分な話ができないこともあります。</p> <p>利用者が相談しやすい体制づくりと相談内容を記録として残しておくことが望まれます。</p>		
36	<p>Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者からの意見や要望、提案などへの対応は行っています。園で問題が発生した場合、本部に報告して、後日回答する仕組みとなっています。内容によっては、臨機応変に速やかに保護者に説明することを含め、迅速な対応が求められます。</p> <p>園長を中心に、職員と共に、状況把握や原因究明、今後の方針を検討し、保護者には早急に対応する手順や仕組み作りなど、苦情対応マニュアルの整備が求められます。</p>		
<p><b>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</b></p>		
37	<p>Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園として安全管理マニュアルを作成しています。リスクマネジメント体制としてはないが、安全・防災委員が専任され、安全確認が定期的に行われています。職員に対しては安全確保、事故防止に関する教育・研修を行っております。ニュース等で取り上げられた一般的な事例なども紹介するなど都度、臨時職員会議も開催し状況報告をしています。「アクシデント報告</p>		

<p>書」や「クレーム受理票」も活用し、安全対策に努めています。</p> <p>今後、保育のサービスの質向上に向けて、リスクマネジメント委員会を作り、組織的に定期的な評価と見直しも含めて実施できることを期待します。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>看護師が配置され、感染症マニュアルを整備し、責任と役割を明確にした管理体制が整備されています。感染症が発生した場合には、速やかに保護者に知らせ、拡大防止に努めています。感染症が発生した場合は行事の延期やクラスの交流を制限し、職員研修をするなど適切な対応がされています。なお、今後、兄妹や家族が感染症に罹患した場合の対応も検討しておくことが望まれます。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にやっている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>災害時の対応体制や利用者及び職員の安否確認の方法が決められ、全ての職員に周知されています。3日分の食料や備品類等のリストを作成したり、ピアノやロッカーを固定するなど対策が取られています。</p> <p>防災計画を作成し、不審者を想定した場合も含む避難訓練を実施していますが、さらに地域の人と連携した訓練が望まれます。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育課程に基づき年間指導計画、月間指導計画を作成し保育を行い、評価反省のもとに次期の計画を作成し、標準的な実施方法が確立しています。</p> <p>本部が作成している「保育園業務マニュアル」は保育園に備えてありますが、保育士がいつでも見て確実に実行できるように、当保育園の実態に合わせた独自のマニュアル作成が望まれます。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育指導計画に基づき保育が行われ、適宜反省及び見直しをする仕組みが確立しています。行事ごとにアンケートをとり、見直しが必要なものは運営委員会や職員会議で検討しています。</p> <p>標準的な実施方法の他、利用者の希望や提案にもとづき、必要に応じて個別的な配慮が望まれます。</p>		



Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画に個別指導が記載され、児童票に成長記録を記載しています。担任の他、関係職員の合議、保護者の意向把握と同意をもとに保育サービスを実施しています。</p> <p>指導計画に子ども一人ひとりの具体的な状況を明記し、支援困難ケースへの対応を組織的に検討して、適切なサービス提供が望まれます。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>クラス毎の保育計画に、保育日誌や保護者との連絡帳や面談などで出された意見なども参考に、評価・見直しが記入され、主任・園長が確認しています。保護者にも見直しの説明をしています。職員の検討会議録や保護者への説明記録は確認できませんでした。</p> <p>保育サービス実施計画について、評価と見直しに関する手順を組織として作成して実施することを期待します。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育指導計画に基づき保育していることを記録により確認でき、職員間で共有化されています。記録する内容が職員により差異が生じないように統一した様式が使用されています。</p> <p>パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施し、速やかな対応が望まれます。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個人情報保護規定により、記録、保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定め、管理体制が確立しています。職員採用時に教育研修があり誓約書を提出しています。指導計画や日誌等は手書きにより、すべて園内で事務処理を行い、個人情報の取り扱いについて、保護者に説明しています。</p>		

## 評価対象 A 福祉サービスの内容

### A-1 保育所保育の基本

A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
46	A-1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育課程は、保育の方針や目標に基づき編成し、子どもの背景や地域の実態、家庭状況、保育時間を考慮しています。</p> <p>保育課程の編成は定期的に評価し、評価に基づいた改善が望まれます。</p>		

47	A-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育室は明るく衛生的であたたかな雰囲気があり、安全で安心して遊べる環境が整備されています。心身の状況と日常生活を観察し、5分ごとにSIDS（乳幼児突然死症候群）チェックをしながら、健康と安全に配慮をしています。</p> <p>特に乳児は、特定の保育士と継続的に関わりが持てるような職員体制が望まれます。</p>		
48	A-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、内容や方法に配慮されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一人ひとりの発達と心身の状態が把握され、日常生活の観察を行うなど健康と安全に配慮をしています。また落ち着いた雰囲気の中で、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重する保育をしています。好きな遊びがいつでもできるような配慮がされています。</p>		
49	A-1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子ども一人ひとりの育ちに応じて基本的な生活習慣の定着が図られ、集団の中で自分の力を発揮しながら友達と協力して遊びや活動に取り組む環境設定がされています。月1回の縦割り保育やクッキング保育など、職員間で連携した保育をしています。</p> <p>遊具や教材の安全性を確認しながら、子どもがいろいろなものに積極的に関わり、遊びが発展する環境設定が望まれます。</p>		
50	A-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画に小学校との連携や、就学に向けた取り組みが明記されています。</p> <p>近くの愛子小学校に行き、交流の機会を設け、運動会の会場として使用するなど小学校が子ども達にとって身近なものであるように配慮しています。保護者との関わりでは、個人面談や、懇談会で入学への不安や疑問に対応しています。</p>		
<p><b>A-1-(2) 環境を通じて行う保育</b></p>		
51	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育園は子どもたちが長時間過ごすところであり、安心して心地よく過ごせる環境整備が大切です。採光、換気、清潔に配慮し、避難用階段や大型遊具の安全点検をしながら危険防止に努め、砂場の砂も定期的に補充されています。</p>		

今後、子どもたちが身体を十分に動かして遊ぶ環境を工夫することが望まれます。		
52	A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ積極的な活動ができるような環境が整備されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育室に手洗い場が設置され、食前の手洗いや食後の片付等を積極的にする姿が見られました。年長児は午睡用の布団の上げ下ろしを自分で行うなど、年齢に応じた働きかけがされています。</p> <p>100名を超える子ども達が戸外に出て、十分に体を動かすことができるように、散歩の取り組みなど、創意工夫が望まれます。</p>		
53	A-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>友達との協同的な体験の環境の整備について、保育課程・指導計画に位置づけています。年長児がそれぞれの好きな花を自分たちで、花屋さんから買い求め育てる取り組みや、各クラスでの野菜作りなど、協同的取り組みが実施されていました。保育日誌にも子どもの姿が、記録されていました。</p>		
54	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかがかわれるような人的・物的環境が整備されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>散歩時に出会う近所の方々に元気に挨拶したり、近隣の高齢者施設まで歩いて行って交流をするなど、社会との関わりが配慮されています。</p> <p>今後は愛子という自然豊かな地の利を生かして、身近な自然とのかかわりなどの創意・工夫を期待します。</p>		
55	A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年齢ごとに、絵本が整備され、読み聞かせや、県子育て支援課実施のロックンロール教室への参加なども行われ、子ども達は興味・関心を高めていました。4歳児クラスでは、マラカスの製作のため、家庭から、空きペットボトルを集めていました。身近なものを使った製作にも取り組んでいます。</p>		
<b>A-1-(3) 職員の資質向上</b>		
56	A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年2回、安全意識や保育力、研修意欲等に関して自己評価しながら、保育を振り返り、保育の改善や専門性の向上に繋げています。園長とエリアリーダーで自己評価結果をもとに、査定を行っています。</p>		

自己評価結果を個人の範囲に留めるだけでなく、評価の全体的傾向を職員会議などで協議し、改善点を共有して取り組むことを期待します。なお、今後、保育指針改定に伴う取り組みを期待します。

## A-2 子どもの生活と発達

A-2-(1) 生活と発達の連続性		
57	A-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>家庭環境や生活リズム、身体的成長の差から生じる個人差を十分に把握し、尊重した保育をしています。子どもの欲求や要求に対して、その都度受け止めて保育をしています。職員会議では人権虐待についての研修をしています。</p> <p>子ども一人ひとりを受容するための人的配置の改善が望まれます。</p>		
58	A-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>配慮が必要な子どもに対し、個別の指導計画を作成しています。保育士の加配が実施され、医療機関との連携も取れています。職員が仙台市や市内にある株式会社日本保育サービスのグループ保育園で行われる研修会にも参加し、組織としての理解を深めています。</p> <p>障害のある子が安心して生活できるように、職員同士の連携と情報共有を期待します。</p>		
59	A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>長時間保育の場合、「チェック板（引き継ぎ確認簿）」を通して、職員間の引継ぎや保護者との連携を行っています。一日平均21名の延長保育を実施しており、延長保育の勤務体制について考慮していますが、保育士の時間外勤務も多く、主任も現場に入らざるを得ない厳しい状況となっております。</p> <p>保育内容の充実と安全保育のため、長時間保育にふさわしい保育体制の充実が求められます。</p>		
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
60	A-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>看護師が配置され、保健計画や健康記録表が整備されています。既往症や予防接種の状況について確認し、一人ひとりの健康状態を把握しています。また季節特有の病気や健康に関する情報提供をし、保育園で感染症が発生した場合は、拡大防止のため保護者に周知し、注意喚起に取り組んでいます。</p>		

61	A-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子ども達が育てた野菜を給食に取り入れたり、毎月19日を食育の日として位置づけたり、食事の大切さや健康に対する意識を育てています。毎月、クッキング保育を実施し、保育士と栄養士の連携が図られ、園全体で楽しい食事がなされる工夫がありました。栄養士が子ども達に食のお話をする取り組みもされています。</p>		
62	A-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>給食会議で喫食状況や残食の状況などを検討し、記録も整備しています。野菜も多く使われ、献立の工夫もしています。献立には旬の食材や季節感を取り入れ、おやつも手作りを心がけています。実際の食事の場面でも、子どもたちが自分の好きな献立の他に、友達の好きなメニューを話し合ったり、給食の充実が反映されています。自分で食べることを援助する箸などの使い方や食器・食事の場面の工夫など食事環境の配慮もされています。</p>		
63	A-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>健康診断や歯科健診の結果については速やかに保護者に伝え、治療が必要な子どもには受診を促しています。職員間の確認には健康記録表を活用しています。歯科嘱託医の助言に基づき、フッ素うがいを実施していますが、希望しない保護者の意見にも配慮し、多様性が保育の中で反映されています。</p>		
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
64	A-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>医師の指示書に基づきアレルギー対応食を提供しています。食事の提供においては他の子どもたちとの相違に配慮し、アレルギー対応マニュアルを整備し、誤配膳防止のためトレーの色分け・氏名の記入・机の配置などのきめ細かな工夫がされています。</p>		
65	A-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は衛生管理の取り組みについてリーダーシップを発揮し、衛生管理に関する担当者を設置しています。衛生管理マニュアルが整備され、職員に周知、研修を行い、マニュアルは定期的に見直しを行っています。</p>		

### A-3 保護者に対する支援

A-3-(1) 家庭との緊密な連携

66	A-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食育の計画を作成し家庭の食事の状況を把握しながら連携を取っています。レシピの提供や、玄関前に給食を展示し、試食会を開催するなど、乳幼児にとって食事の大切さを伝えると共に、毎月給食便りを発行し、積極的に保護者に情報提供しています。</p>		
67	A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子育て環境の変化により、保育所には子育て支援の機能が期待されています。0歳～2歳までは連絡帳を活用し、3歳以上は送迎の時に話をするなど、日常的に家庭の状況や保護者と情報交換が行われています。保護者との信頼関係を作りながら、個別相談に対応して保護者支援を行っています。</p>		
68	A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3歳未満児は連絡帳を活用したり、運営委員会やクラス懇談会で子どもの発達や育児について話し合うなど、共に考える機会になっています。保育について共通理解をするため保育参加を実施し、日常の保育を記録する保育日誌が整備されています。</p>		
69	A-3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「子供の人権と虐待について」の小冊子の中にマニュアルが整備され、職員会議で情報共有をしています。不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの発見のため、子どもの心身の把握に努めています。養育が不適切になる心配がある場合には、予防として精神面や生活面の援助をしています。児童虐待及び防止について保護者への啓発に努め、地域の関係機関と連携を図っています。</p>		